# 営農情報(令和5年7月)

作成•監修 勝浦町農業振興推進班

#### ■温州みかん

今年は、昨年結実した遊休樹が多く、全体としてはやや裏年となっています。この時期は 生理落果も終わり、肥大が始まって今年の着果量が見える状態となっています。

#### ◇摘 果

- ・粗摘果の時期は、極早生は7月上旬、早生は7月下旬、中生・普通は8月上旬から始めます。
- ・高糖系の隔年交互結実樹は、着果過多により2S以下の小玉が想定される場合は、8月に 粗摘果を行い、9月中旬から10月にかけて仕上げ摘果を行います。
- ・摘果する果実は、低品質になる果実を優先的に落とし、後半の仕上げ摘果で傷果、腰高果、 上向き果を落とします。
- ◇果実の体質・果皮の強化(カンキツ共通)

対象病害虫

ッ (青玉用)

- ・カルシウムの葉面散布 カルタス500~1000倍(9月までに農薬散布に混用)
- ・有機石灰の施用 施用量:100kg/10a (梅雨期間中施用 例:サンライム、セルカ等)

#### ■すだち

# ◇摘果•摘葉

今年産は十分着果しており、摘果を必要としております。 密着果、障害果などを摘果し、果実の葉影となる葉を除き青果率を向上しましょう。

# ■かき

#### ◇摘果

摘果は生理落果終了後から作業適期となり、早く行うほど効果が高くなるので、7月いっぱい に終了させましょう。「次郎」は果頂裂果予防のため、摘果しすぎないようにしましょう。

**薬剤**名

# 【病害虫防除】

時期

#### 温州みかん

	h () 2/2)	バタルロユ	<b>木川</b> 山	אלא בוו אלי נוני	1人位的 4人	区川巴奴
	7月中下旬	ミカンハダニ	コロマイト(水)または	2,000	7日	2回以内
		ミカンサビダニ	ダブルフェース(フ)加用	3,000	前日	1回
		黒点病	ジマンダイセン(水)	600	30日	4回 以内
		ゴマダラカミキリ	エクシレルSE または	5,000	前日	3回 //
		チャノキイロアザミウマ	アクタラ(顆水)	2,000	14日	3回 //
す	だち					
	7月 上旬~下旬	かいよう病	マスタピース(水)	2,000	_	_
			(発病前~発病初期)			
		ヨモギエダシャク	エクシレルSE または	5,000	前日	3回以内
			ロディー(乳)	2,000	7日	4回 //
		ミカンハダニ	コロマイト(水)または	2,000	7日	2回 //
		ミカンサビダニ	ダニゲッター(フ)または	2,000	前日	1回
		黒点病	ストロビー(ド)	2,000	14日	3回以内
		カネタタキ	ハチハチ(フ)	2,000	前日	2回 〃
Į	18	アザミウマ類	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	2,000	א ניח	
ゆず						
		ミカンハダニ	ダブルフェース(フ)または	3,000	前日	1回
	7月	ミカンサビダニ	コロマイト(水) 加用	2,000	7日	2回以内
	中下旬	黒点病	ジマンダイセン(水)	600	90日	4回 //

※上記カンキツの黒点病薬剤には、固着剤としてアビオンーEを1,000倍加用のこと。

ストロビー(ド)

#### かき

╸.						
	7月	炭疽病、落葉病	ラビライト(水)加用	500	45日	2回以内
	上中旬	ツノロウムシ	コルト(顆水)	3,000	前日	3回 #

2.000

14日

# ■水稲

#### ◇中干し

- (1) 密植圃場では、15本程度の茎数で軽く中干しを行う。
- (2) 幼穂形成期(出穂25日前)以降は、幼穂の発育期となり、水分を必要とする時期なので、田面が乾かないように管理する。

#### ◇穂肥

元肥一発肥料を使った場合は必要ないが、化成肥料による元肥の場合は、BBみのりを施用する。コシヒカリの場合は出穂15日前(幼穂3cm)に15kg、コシヒカリ以外の品種は出穂21日前(幼穂5mm)に20kgを目安として、葉色が濃い場合は減らすようにする。

# ◇病害虫防除

対象病害虫	薬剤名	散布量	登録期間	使用回数	
いもち病	コラトップ粒剤5	3~4kg/10a 初発10日前~初発日		2回以内	
紋枯れ病	リンバー粒剤	3~4kg/10a	収穫30日前	2回 //	
カメムシ類 ウンカ類	キラップ粒剤	3kg/10a	収穫14日前	2回 "	

## 夏野菜

# ■スイートコーン

- ・株元のわき芽や、2番目以降の雌穂は、根を傷めたり、茎葉を傷つける恐れがあるので放任しておきます。収穫は、早朝に行います。
- ・アワノメイガについては、雄穂の出穂~開花期にパダン粒剤4を 6kg/10a(収穫7日前/2回以内)株の上から均一に散粒するか、プレバソンフロアブル5 2000倍(収穫前日/3回以内)を散布します。

# ■オクラ

- ・1番花の開花から果実2cmくらいまでの間に1回目の追肥をします。草勢をみながら、チッソ 成分で 2kg/10a程度を月1~2回行います。
- ・葉かぎは、着果節から3~4枚を残してかぎ取りますが、草勢が弱いときは控えます。
- ・ハスモンヨトウ、オオタバコガの防除は、プレバソンフロアブル5 2,000倍(収穫前日、3回以内)またはコテツフロアブル 2.000倍(収穫前日/2回以内)を散布します。

#### 【役場からのお知らせ】

■勝浦みかん作況情報

令和4年度から、勝浦みかんの作況情報を役場HPに掲載しています。 (最新は、R5.5.18付け、次回は7月10日頃に更新の予定)

町内の気象データ(かんきつテラスの気温と横瀬の降水量)および病害虫の発生予察情報、さらに果実の糖酸度の推移について、把握できるように構成しておりますので是非ご活用ください。

右のQRコードをスマホで読み取ってもらえば、HP画面につながります。



■農作業中の熱中症に注意してください。熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です。作業時には帽子と通気性の良い衣類を身につけ、こまめな水分補給と休憩を心がけてください。

## くお問い合わせ先>

勝浦町農業振興推進班

勝浦町農業振興課42-1505 JA営農振興課088-538-7180 徳島農業支援センター088-626-8768